

「点検していますか？住宅用火災警報器」



住宅用火災警報器の故障や電池切れで
警報音が鳴動する事例が発生しています！



月に1回点検しましょう！

住宅用火災警報器は命を守る大切な機器です。
日頃からテストやお手入れをしましょう！

点検方法

1、テストをしましょう！

テストは、ボタンを押したり、ひもを引いたりして行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。



2、お手入れをしましょう！

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。



3、交換の時期を確認しましょう！

電池切れのときには、音声や警報音でお知らせします。本体の寿命はおおむね10年です。設置後10年が経過したら、新しい警報器に交換しましょう。



住宅用火災警報器（例）



「ピッ…ピッ…」

といった短い音声が鳴った際は、**電池切れ**や**故障**の可能性があります。

